

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 02 生涯学習の充実

主管課：生涯学習課

施策の目的

生涯にわたって学習できる環境を整えることによって、市民が生涯学習を行う機会が増加し、自己の充実を図り、生きがいを見いだすことができますようにします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民	生涯学習を行う市民が増加する。
----	-----------------

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
生涯学習を行う市民割合	%	38.7	44.1	-	43.1	43.8	42.1	↗

施策の達成状況(25年度)

「生涯学習を行う市民割合」は、平成24年度に比べ1.7ポイント下がっているものの、初期値からの流れを見ると、生きがいのある人生を過ごし、精神的な充実や生活の向上を目指すことが定着しつつあると捉えることができる。生涯学習に関する施設や情報、機会が充足していると思う市民割合が高いことから、多様なニーズに応じた学習を継続的に行うことができる環境づくりが進んでいるものと評価できる。少子高齢化、高度情報化、国際化が進む中、地域活性の一端として生涯学習が必要とされていることから、今後も、より一層学習機会の提供や既存施設の整備を図るとともに、指標がやや低めになっている、学習の成果を地域やまちづくりに発揮できるような仕組みづくりに向け、関係団体と連携していく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	333,892	337,929	327,824	320,223	334,385
事業費(千円)	252,149	258,135	255,989	240,463	256,254
人件費(千円)	81,743	79,794	71,835	79,760	78,131

基本事業

01 生涯学習関連施設の充実

基本事業の目的

図書館や公民館などの施設を充実させることにより、生涯学習に取り組む市民・団体に学習する場を提供することができます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生涯学習関連施設	・学習目的を達成する場がある。
----------	-----------------

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
生涯学習施設が充足していると思う市民割合	%	71.1	73.5	-	75.7	75.2	75.4	↗

基本事業の達成状況(25年度)

「生涯学習施設が充足していると思う市民割合」は、75%を超える水準を維持しており、平成18年度から指定管理者制度を導入している公民館の効率的な管理運営と事業実施により、利用者ニーズに応えられていることが指標の安定につながっていると分析する。

公民館利用者数についても平成24年度に比べ約5,800人増加しているほか、平成25年度の利用者アンケート調査の施設満足度についても、満足・どちらかという満足・普通とした回答が下半期で84.1%と高い割合であった。今後も指定管理者と連携し、公民館の利便性向上のため、利用者のニーズの把握に努める。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	277,214	282,982	259,863	265,025	279,689
事業費(千円)	231,158	237,846	220,937	219,734	235,545
人件費(千円)	46,056	45,136	38,926	45,291	44,144

基本事業の目的

市民に学習に関する情報を提供したり実施団体に対して補助・支援を行い、利用者が自分たちで活動・学習内容を選択するための情報を得ることができるようにします。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

学習情報の利用者、生涯学習を主体的に行う団体	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで主体的に活動・学習内容を選択するための情報を知ることができる。 ・組織を作り自分たちで活動できる。
------------------------	--

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
生涯学習の情報が充足していると思う市民割合	%	70.5	71.7	-	71.2	74.5	72.9	↗
生涯学習を主体的に行う団体数【社会教育関係団体登録数】	団体	240	241	249	228	235	229	240

基本事業の達成状況(25年度)

「生涯学習の情報が充足していると思う市民割合」は、平成24年度に比べると1.6ポイント下がっているものの、70%を超える水準を維持している。これは、生涯学習推進協議会による広報活動の推進が実績につながっていると考えられる。また、社会教育関係団体の登録数は、会員数の減少を理由に解散する団体が近年増え、平成22年度をピークに減少傾向となり、平成25年度は初期値と比べ11団体減少している。今後も社会教育団体が継続的な活動ができるよう施設使用料の減免や青少年ふれあい交流促進事業での補助などの支援を行っていく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	7,156	6,622	6,572	6,644	6,369
事業費(千円)	2,591	2,189	2,158	2,235	2,072
人件費(千円)	4,565	4,433	4,414	4,409	4,297

基本事業の目的

生涯学習を受ける機会を充実させることによって、様々な生涯学習に取り組む市民が増えるとともに、その学習成果を社会の中で活かすことができます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生涯学習に取り組む市民	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会がある。 ・学習目的にあわせた指導が受けられる。 ・個人学習に必要な資料の提供が受けられる。
-------------	---

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
生涯学習機会が充実していると思う市民割合	%	70.2	71.9	-	72.2	72.0	73.1	↗
学習した成果をまちづくりやボランティア活動等に活かしている市民の割合	%	-	24.9	-	22.1	23.3	17.6	↗

基本事業の達成状況(25年度)

「生涯学習機会が充実していると思う市民割合」は、70%を超える水準を維持しており、生涯学習機会の提供については、一定のレベルを満たしているといえることができる。幼児と親、児童生徒、成人、高齢者といった世代別に応じた学習機会の提供に努めており、特に、青空子ども広場など体験参加型の事業では、参加者の多くが満足感を示している。その一方で、「学習した成果をまちづくりやボランティア活動等に活かしている市民の割合」は、20%以上を維持していたものの、平成25年度は前年度比で5.7ポイント下がり、蓄積した学習成果を市民がどのように活かしていくかという次のステップにつなげていないのが現状である。今後は、学習成果が活かされている事例の周知啓発を行うとともに、市民が学習により得た知識をまちづくりに活かすことができるよう関係団体と連携して進めていく必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	32,678	31,874	44,701	31,425	31,121
事業費(千円)	7,780	7,694	22,228	7,377	7,681
人件費(千円)	24,898	24,180	22,473	24,048	23,440